

火の活動

# 火おこし体験(紐切り式)

協力して火おこしをすることで、火の大切さを感じられます。



対象	小学4年生以上
時間のめやす	1時間程度
持ちもの	軍手・新聞紙
貸出品	火おこしセット(1セット5人程度) →火きり棒・火きり板・下敷用の板・ハンドピース・ロープ・麻ひも(もぐさ・ろうそく) ※セットは事前にお申し込みください。費用は「薪・クラフト等申込書」をご参照ください。



- ①ロープは水平に引っ張り合います(下の写真④)。傾くとハンドピースを押しやる人の手に当たり、ヤケドをする場合があります。
- ②火種に息を吹きかけているとき(下の写真⑥)、急に炎が立ち上がることがあります。ヤケドをしないように十分気をつけてください。

<p><b>1</b></p>	<p>麻ひもをほぐす。新聞紙で『受け皿』を作り、写真のようにセットする。</p>	<p><b>4</b></p>	<p>ロープの両端を持ち、矢印の方向に交互に引っ張り合う。</p> <p>ロープは地面と平行にし、一直線にピンと張ったまま引き合うのがポイント。</p>
<p><b>2</b></p>	<p>ロープを火きり棒に2回巻きつけ、写真のようにセットする。</p> <p>ロープを引いた時にロープが足に擦れないようにする。</p>	<p><b>5</b></p>	<p>火きり板のV字の溝に黒い木クズがたまり、その中から煙が出てきたら、火種ができはじめている。</p> <p>もぐさに火種を移すと成功率アップ。</p>
<p><b>3</b></p>	<p>真ん中の人ハンドピースを上から押しやる。</p> <p>すねでハンドピースを抑えるのがポイント。</p>	<p><b>6</b></p>	<p>できた火種を①のセットに載せ、包むようにして息を吹きかける。炎が起きれば、成功!</p> <p>強い息を細く長く吹くのがポイント。</p>

このアクティビティシートは、愛川ふれあいの村利用者に役立つ活動情報を提供するためのものです。目的外の使用、内容の改変、WEB等への転載を禁じます。